



「音

大を卒業してすぐに音楽の仕事
を始めて、今年45年目になり
ます」と話すのは、音楽講師の新里一恵
さん。

0歳から90代まで、毎日幅広い年代の
人々と関わりながら、音楽の楽しさを
伝えていきます。

ヤマハ音楽教室の講師として子どもた
ちに指導し始め、現在は呑竜幼稚園、馬
門鏡もち保育園、小規模保育園などで、
音楽の指導をしています。

大人向けには、田沼地区公民館で活動
しているコーラスグループ「女声コーラ
ス田沼」の指導を引き継ぎ、6月には20
周年演奏会を開催。また植野、界地区の
公民館でのコーラスグループを担当して
おり、月1回、はつらつセンターで「ピ
アノで歌いましょう」の講座も実施して
います。毎年開催する発表会は、子ど
もから大人まで生徒が集い、世代を超え

キラリ話題の人

新里 一恵 さん かずえ

音楽講師



▲20周年演奏会の様子

音楽がエネルギーの源



▲子どもたちと一緒に

て楽しめるイベント。「年齢は関係なく、
音楽で心と心を通わせていけたら」と願
いを込めます。

「音楽がエネルギーの源」だという新
里さんは「子どもが好きで、音楽を通し
て関わっていくことを仕事にできまし
たが、はつらつとした80代、90代の女性
たちからも、逆に私がパワーをもらって
います！」と笑顔で語ってくれました。

新里さんがいるだけで、その場の空気が
ぱあっと明るくなるから不思議です。

(市民記者 永倉文子)



市長室からこんにちは!

いよいよ夏本番です。皆さま
いかがお過ごしでしょうか。外
に出にくい暑い夏だからこそ、
時間帯に気を付け、直射日光
を避け、十分な熱中症対策を
行い、楽しみながら健康づく
りを楽しみませんか?

今年の6月から「さのまる健
康アプリ」ということで、令和
4年度に使用した健康アプリ
を、より親しみやすく、より
使いやすくしました。

このアプリを使った健康づく
りキャンペーンを、18歳以上の
市民を対象として来年1月31
日まで実施しています。キャン
ペンは、市民の皆さまに楽し
みながら健康づくりに取り組ん
でいただくことを目的とするも
ので、自分の健康に関心を持ち、
健康づくりに取り組むきっかけ
にしていきたいと考えていま
す。

厚生労働省が今年公表した
最新の平均寿命では、本市の

男性が25市町のうち22位、女
性が21位と前回の各25位より
は順位を上げましたが、まだま
だ県内でも低い状況です。市
民の皆さまお一人お一人が健
康に関心を持ち、健康づくり
を行うことが重要となつてきま
すので、佐野市一丸となつて頑
張っていきましょう。

こまめな水分補給を行い、熱
中症に気を付けながら無理のな
い範囲で健康貯筋を蓄えましょ
う。



佐野市長
金子 裕





①

佐野ふるさとガイド 佐野の名所を案内する観光ボランティア

市内にはいろいろな名所があります。その名所を案内するのが観光ボランティアガイドです。

筆者も昨年、ボランティア養成講座を受講し、今年は実際の案内をどう進めるか研修中です。5月末には佐野駅前付近の見どころなどの説明を受け、分かったつもりでいた地元のことを学び直しています。

観光名所の一つである唐沢山は、山城サミット後、城巡りの流行もあり多くの方が訪れています。特に夏の時期には、唐沢山でパンフレットを配布し、希望の方には案内もしているそうです。この他、佐野厄よけ大師、天明鑄物などが人気とのことでした。

講座を受講して、藤原秀郷からの佐野氏の流れ、上杉、北条との対決などの歴史も学びました。より多くの方が佐野に来て、その良さを知ってもらえたらと思います。

(市民記者 福田 満)



①天明鑄物栗崎鑄工所の前で栗崎さんを囲んで
②佐野駅前での説明の様子

伝統のお祭りで獅子が舞い踊りました♪



佐野かるたでおなじみ

けんをかざして、芦哇獅子舞

7月16日(日)、並木町の花岡地区で「芦哇獅子舞」の例祭が行われました。

この獅子舞は、親獅子、雌獅子、子獅子の3頭で舞い踊る、約750年以上の歴史をもつ獅子舞で「佐野市指定無形民俗文化財」の第1号でもあります。

午前8時に花岡町公民館を出発した3頭の獅子は、笛や太鼓などの一行と各家庭を訪問し、舞を納め、太刀を振るって、五穀豊穡、無病息災を祈願して回りました。

4年ぶりに開催！飛駒地区伝統の祭典



奥佐野の豊かな自然に囲まれて

飛駒地区伝統の八坂神社祭典

7月16日(日)、飛駒地区で、伝統の八坂神社の祭典が行われました。

この祭典は、市北部の飛駒地区に古くから伝わる祇園祭で、疫病除けが由来といわれ、寛政元年(1789年)から今日まで大切に守られてきたお祭りです。

緑豊かな山々を背景に、ちょうちんや紙飾りで飾り付けられた山車2台が、住民の幸せを願い、にぎやかにおはやしを奏でながら山の神社まで練り歩きました。